

「森林環境に関する新たな課税」に関するアンケート調査結果

このアンケート調査は、現在県において検討を進めています「森林環境に関する新たな課税」の導入について、幅広いご意見をいただくため、県下の各種イベントの参加者や県政モニターなどのご協力をいただき実施したものです。

回答者の総数は、1,733名で、その集計結果は以下のとおりです。

1 回答数

「奈良県暮らしと環境フェスティバル」	3/14	285
「アースデー2004 in 奈良大和川クリーン作戦」	4/20	180
「奈良県環境県民フォーラム総会」	4/22	62
「なら森を育てる県民の集い」	5/22	130
「消費生活フォーラム」	5/25	85
「元気地場産！ときめきフェア」	6/12 6/13	587
「なら男女共同参画週間イベント2004」	6/26 6/27	113
「県政モニター」	6月	73
シンポジウム「奈良の元気な森林をつくるために」	7/17	173
一般県民意見交換会	7/25	22
一般県民（奈良県ホームページ）	6月～7月	23

計 1,733

2 回答者の属性

年齢

	回答数	構成比(%)
10歳代	21	1.2
20歳代	105	6.1
30歳代	282	16.3
40歳代	319	18.4
50歳代	377	21.7
60歳代	417	24.1
70歳代以上	136	7.8
無回答	76	4.4
計	1,733	100.0

性別

	回答数	構成比(%)
男性	690	39.8
女性	950	54.8
無回答	93	5.4
計	1,733	100.0

職業

	回答数	構成比(%)
農林業	31	1.8
自営業	112	6.5
給与所得者	608	35.1
無職	895	51.6
無回答	87	5.0
計	1,733	100.0

地域

	回答数	構成比(%)
奈良市	405	25.9
大和高田市	304	19.4
大和郡山市	87	5.5
天理市	57	3.6
橿原市	101	6.4
桜井市	40	2.6
五條市	9	0.6
御所市	62	4.0
生駒市	71	4.5
香芝市	76	4.9
添上郡	1	0.1
山辺郡	6	0.4
生駒郡	57	3.6
磯城郡	59	3.8
宇陀郡	24	1.5
高市郡	12	0.8
北葛城郡	129	8.2
吉野郡	65	4.2
小市部	1,212	69.9(77.4)
計 郡部	353	20.4(22.6)
県外・無回答	168	9.7
計	1,733	100.0

()は県外・無回答を除いた市部、郡部の構成比である。

3 調査結果

問1 森林環境に関心を持っておられますか。(一つを選んで下さい。)

	回答数(構成比)	
1 とても関心がある。	762(44.0%)	} 93.2%
2 多少関心がある。	853(49.2%)	
3 あまり関心がない。	100(5.8%)	
4 全く関心がない。	4(0.2%)	
無回答	14(0.8%)	
計	1,733(100%)	

「とても関心がある」「多少関心がある」を含めた関心度は93.2%であり、回答者の環境に対する関心度は高い。

問2 森林は木材等の生産以外に、どのような役割を果たしていると思われますか。(複数回答可)

	回答数(選択率)
1 雨水を貯留することにより、河川への流出を平準化し、その過程で水質を浄化する役割	1,327(76.6%)
2 樹木が根を張り巡らすことなどにより、土砂の崩壊や流出を防止する役割	1,394(80.4%)
3 森林浴、ハイキング、キャンプ等の場の提供により、人にやすらぎと休養を与える役割	1,091(63.0%)
4 野生動植物に生息・生育の場を提供することにより、自然環境を保全する役割	1,165(67.2%)
5 光合成による二酸化炭素の吸収により、地球温暖化を防止する役割	1,258(72.6%)
6 その他	30(1.7%)
計	(延べ)6,265 (純計)1,733

土砂の崩壊や流出を防止する「国土の保全機能」の選択率が80.4%と最も高いが、次に「水源かん養機能」(76.6%)、「地球温暖化防止機能」(72.6%)、「自然環境保全機能」(67.2%)、「保健休養機能」(63.0%)となっている。

問3 奈良県の森林の現状をどうと思われますか。(一つを選んで下さい。)

	回答数(構成比)	
1 荒廃が進んでいる(と聞いている)	944(54.5%)	} 20.2%
2 それほど荒廃は進んでいない(と聞いている)	301(17.4%)	
3 管理が行き届いている(と聞いている)	49(2.8%)	
4 わからない。	402(23.2%)	
5 その他	24(1.4%)	
無回答	13(0.7%)	
計	1,733(100%)	

「荒廃が進んでいる」と認識している者が54.5%で、「それほど荒廃は進んでいない」「管理が行き届いている」の合計20.2%を大きく上回っている。また、回答者の約1/4が「わからない」としている。

問4 森林を守るために新しい税をつくることについて、どう思われますか。(一つを選んで下さい。)

	回答数(構成比)	
1 賛成である。	301(17.4%)	} 86.7%
2 税負担の程度によっては賛成である。	405(23.4%)	
3 使いみちによっては賛成である。	795(45.9%)	
4 反対である。	106(6.1%)	
5 どちらとも言えない。	97(5.6%)	
6 その他	25(1.4%)	
無回答	4(0.2%)	
計	1,733(100%)	

「賛成」の17.4%、「税負担の程度によっては賛成」の23.4%及び「使いみちによっては賛成」45.9%を合わせた賛成意見が86.7%となっている。
これに対し、「反対」は6.1%であった。

問5 森林を守るために、あなたは一年間にどれくらいの金額を負担しても良いと思われますか。(一つを選んで下さい。)

	回答数(構成比)
1 300円	278(16.0%)
2 500円	449(25.9%)
3 1,000円程度	580(33.5%)
4 2,000円程度	92(5.3%)
5 わからない	227(13.1%)
6 その他	73(4.2%)
無回答	34(2.0%)
計	1,733(100%)

年300円が16.0%、年500円が25.9%、年1,000円程度が33.5%であり、概ね300円~1,000円の負担水準が多数意見となっている。

問6 「森林環境に関する新たな課税」による税の使いみちは、何がよいと思われますか。(複数回答可)

	回答数(選択率)
1 県民が森林に親しむための事業(里山の整備、都市住民と山村住民の交流等)	732(42.2%)
2 県民の森林保全意識を高めるための事業(シンポジウム、森林環境体験学習の開催等)	444(25.6%)
3 木材の活用と林業等への理解を図るための事業 (県産材の利用促進、廃材のエネルギー資源としての利活用等)	493(28.4%)
4 森林所有者等が行う森林整備への支援事業(間伐作業の支援等)	506(29.2%)
5 県・市町村による放置森林等の整備	636(36.7%)
6 放置森林所有者等へ森林整備の働きかけを行う事業	309(17.8%)
7 その他	71(4.1%)
計	(延べ)3,191 (純計)1,733

「県民が森林に親しむための事業」(42.2%)の選択率が最も高く、次に「県・市町村による放置森林等の整備」(36.7%)、「森林所有者等が行う森林整備への支援事業」(29.2%)、「木材の活用と林業等への理解を図るための事業」(28.4%)となっている。

問7 問4で、4(新たな税に反対)を選ばれた方にお聞きします。
これを選ばれた理由はなんですか。(複数回答可)

	回答数(選択率)
1 森林の働きは県を超えた広い範囲に及ぶので、国が取り組むべき問題である。	46(43.4%)
2 森林を守る取組は森林所有者が主体的に行うべき問題である。	25(23.6%)
3 森林を守ることは大切だが、現在の県税収入の範囲で行えばよい。	44(41.5%)
4 理由は問わず、新たな税負担には賛成できない。	42(39.6%)
5 その他	10(9.4%)
計	(延べ)167 (純計)106

問4で反対した者(回答者の6.1%)の主な理由は、「公益的機能は県域を超えるため国が取り組むべき問題」、「現在の県税収入の範囲で行えばよい」及び「理由は問わず反対」が多数意見であった。

問8 その他ご意見があれば、自由にお書き下さい。

<主な意見>

*税の導入について

- ・必要ならば税負担もやむを得ないと思います。決して無駄、不正だけはしていただきたくない。
- ・本来、森林の整備はその所有者が行うべきだが、ちゃんとした理由があれば税金によることもやむを得ない。
- ・森林税の導入に際して県民に分かりやすい説明が必要である。
- ・税金を新しくとるなら、しっかりと説明して、その必要性を十分に理解出来るようにして欲しい。
- ・税の使いみちを明確に。子供達にも森林がいかに大切かを学習出来る場も設けて欲しい。
- ・年金生活者のもとより若者でも生活が苦しい中、新税はいかがなものか。
- ・県税収入の範囲で行えばよい。十分に検討してもらいたい。増税は最後の手段。

*その他

- ・森林を所有しているが、木材価格の低迷で売るにも売れず、整備するのに費用がかかっている状態。
- ・森の公有化を進めるべき、採算性ではなくて、都市も含めてのインフラ整備としての考えで・・・
- ・県の環境活動をもっと積極的にPRすべきと思う。
- ・森林は大切、人を育てることが大事なのでは。
- ・身近なところから、まず奈良の若草山から春日山、高円山周辺の美しい原生林と町屋の調和を守って欲しい。
- ・自然は一度壊れてしまうと元に戻すことは殆ど不可能だと思うので守って欲しい。
- ・竹がはびこり里山の破壊がひどいことを知り、奈良は自然を大切にすべき観光地なのに整備の遅れを痛感する。
- ・森林整備にもっとボランティア団体の力を活用して欲しい。
- ・森に親しみを感じるような、広報、宣伝、活動をもっと行って下さい。
- ・奈良は特に森林が多いので、良い環境を守って欲しい。
- ・子供、生徒、児童が、森林の大事さや奈良の木材のことに興味を持つような楽しい取組をして欲しい。
- ・廃材の使いみちをもっと広めては。
- ・経済的に潤わないと森林環境は良くならない。